

宮前区役所・市民館・図書館の移転には、 やっぱり反対です。

鷺沼駅前に、時代遅れの巨大タワマン2棟。市と東急が、移転検討のときには住民に隠してきた、とんでもない計画が明らかになりました。

巨大ビルによる環境変化

海拔200mのタワマン、吹き降りる突風は？日照は？

鷺沼の丘の上に建つタワマンの海拔は200mを超えます。ビル風の強さはこれまでと比べものになりません。通学時の児童、高齢者、ママチャリのお母さんや子どもの危険は大きく高まることが考えられます。周辺への日照被害も深刻です。

地域の交通事情

道路は大渋滞、駐車場不足も？

いまでも、鷺沼駅周辺の交通渋滞は深刻。再開発ではさらに、区施設利用者の車とタワマン居住者(530戸)の車が加わります。バスも増便予定。なのに計画では周辺の道路の拡幅も新設もありません。渋滞がひどくなるのは、目に見えています。

また、計画では駐車場は510台を用意するといいますが、現在の区庁舎利用駐車スペースと鷺沼駅前駐車スペースだけでも300台を超えています。それにタワマン居住者(530戸)分を加えると、かなりの不足が予想されます。駐車待ちの車が道路に溢れる恐れがあります。

防災問題

区役所は対策本部の役割を果たせるのか？

鷺沼駅周辺は、軟弱地盤で土砂災害警戒区域に指定され、震災時には鷺沼駅北側の法面と陸橋の崩落が懸念されます。また、災害発生時には、区役所・消防署・警察署の一体的な対応が何より不可欠です。

災害対策の重要性が急浮上しています。その本部となる区役所を移すべきではありません。

地上37階
高さ146m

地上20階
高さ92m

たまプラーザ

鷺沼駅

宮前平

準備組合発表のデータを元に「宮前区役所移転に反対する会」が作った鷺沼駅前開発のイメージ模型

計画されているタワマン2棟の高さは146m(地上37階)と92m(同20階)。

再開発準備組合(東急)も川崎市も 住民無視を改めてください!

税金のムダ遣いはやめ、
住民本位のつかい方を

「街づくりの主役は住民」のはずなのに……

住民説明会の開催を拒否

当初は住民代表との面会までも拒否

市街地再開発事業は、事業者が民間であっても「公共の福祉」のために行われます(法第1条)。県や市の認可が求められ、多額の税金も使われます。

ところが鷺沼駅前再開発の事業者である再開発準備組合・東急は、当初、私たちとの面会を拒否、組合事務所の住所も教えないという態度でした。いまま住民への説明会開催をかたくなに拒否。住民の不安にこたえようとする態度がみられません。ほかの開発にはない異常事態です。



住民代表との面会を拒否し、説明会開催要求も受け取らない準備組合・東急に抗議する住民(10月23日、溝の口)

市の責任は
重大

タワマン計画を住民に 隠して庁舎移転を決定

移転と再開発でいちばん影響を受けるのは、住民です。ところが川崎市は、住民の「開発の全貌を明らかにしてほしい」という声を無視し、タワマン計画は隠したまま、問答無用で移転計画を決めました。こんなやり方は民主主義社会で許されるものではありません。

区役所移転問題と鷺沼駅前再開発についての

私たちの提案

- ◎ 税金のムダ遣いはやめ、住民本位のつかい方を。
- ◎ 鷺沼駅前再開発にあたっては、住民・通勤者の安全と暮らしやすさの視点から、タワーマンションでなく、周辺と整合性のとれた計画に変更してください。
- ◎ 駅の混雑、周辺道路の渋滞の解消の手立てを十分にとってください。鷺沼駅前に区役所支所、もう一つの市民館と図書館、子育て支援施設を。※宮前区は他区と比べて、市民向け施設が少なすぎます。
- ◎ 宮前区役所・市民館・図書館は現在地に存続させてください。バス便の充実で足の確保を。
- ◎ 向丘や野川、菅生地域に区役所機能の充実を。

